

◆ 今週のコメント

- ・ アメーバ赤痢の報告が2例(男性(40歳代), 女性(50歳代))あります。本年の累積報告数は5例となっています。
- ・ 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は0.32(13例)で、過去5年平均値を上回っています。例年6月頃から徐々に増加しはじめ、7～8月に流行のピークを迎えます。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は1.83(75例)で、過去5年平均値を上回っています。例年春から夏にかけて患者数の増加が見られます。

◆ 今週のトピックス: < 侵襲性肺炎球菌感染症 >

侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(男性, 60歳代)あります。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類: 結核 11例(肺結核 7例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 3例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 145例(肺結核 72例, その他結核 30例, 潜在性結核感染者 43例)うち喀痰塗抹陽性 35例】
- ・ 五類: アメーバ赤痢 2例【1月以降の累積報告数 5例】
- ・ 五類: 侵襲性肺炎球菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 19例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

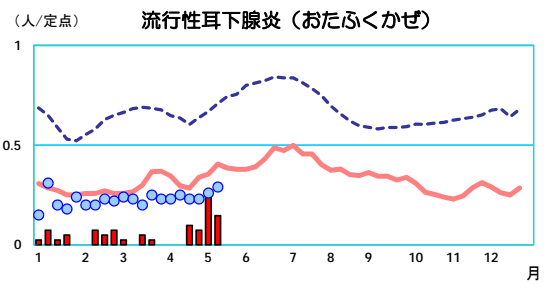
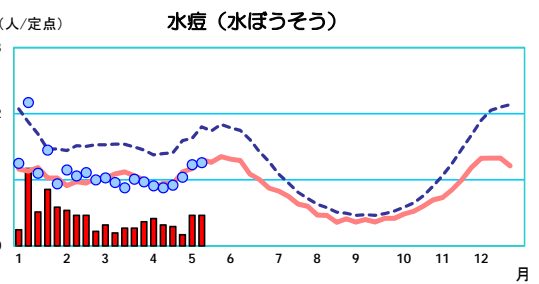
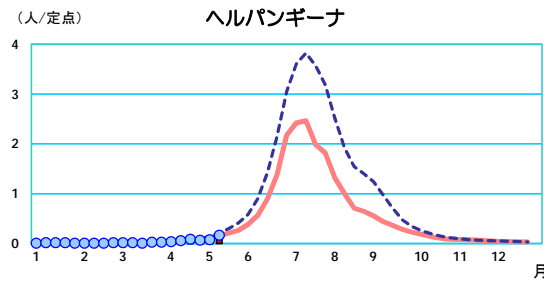
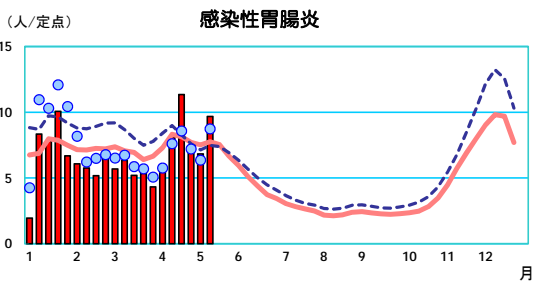
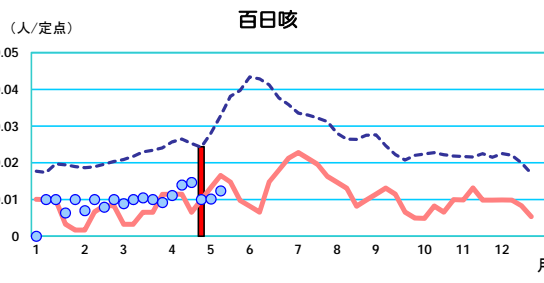
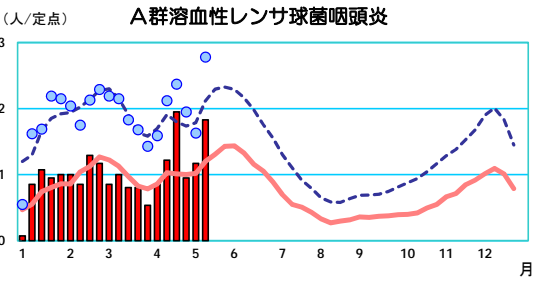
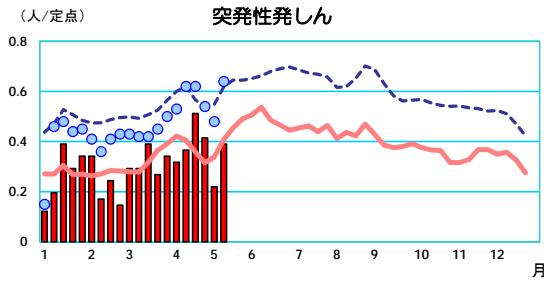
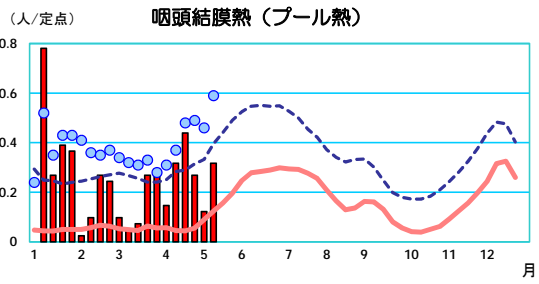
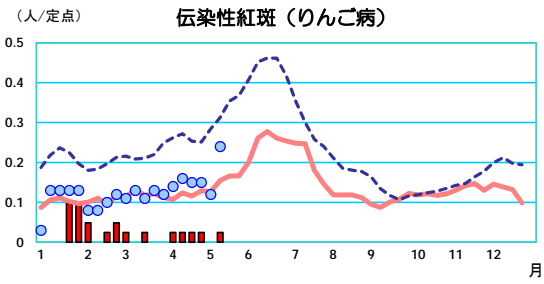
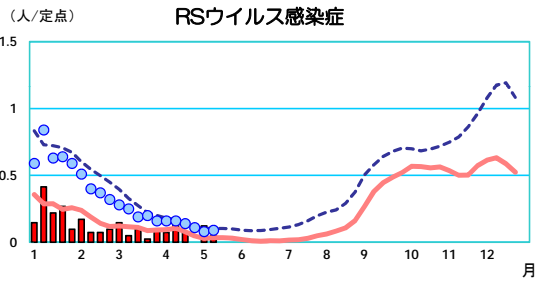
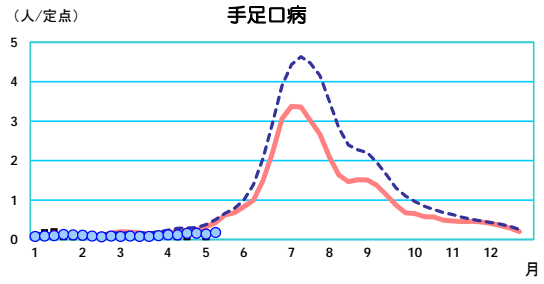
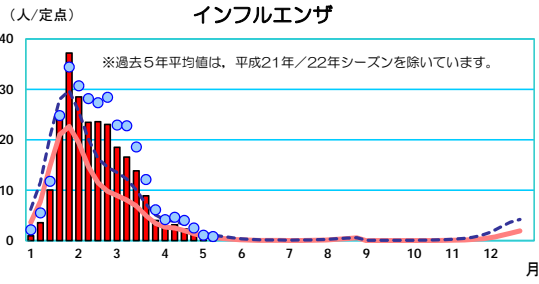
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ	インフルエンザ	0.56	38
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	9.68	397
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.83	75
	③ 水痘	0.46	19
	④ 突発性発しん	0.39	16
	⑤ 咽頭結膜熱	0.32	13
眼科	流行性角結膜炎	0.70	7

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: < 侵襲性肺炎球菌感染症 >

(注) 京都市のデータは、平成26年5月22日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成26年）



第20週(5月12日～5月18日)トピックス: < 侵襲性肺炎球菌感染症 >

侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例(男性, 60歳代)あります。平成25年4月1日に五類感染症に追加されて以降, 昨年は15例の報告があり, 本年は第20週までに19例の届出がありました。

肺炎球菌による主な病気には, 肺炎, 気管支炎等の呼吸器感染症や副鼻腔炎, 中耳炎, 菌血症, 髄膜炎などがあります。通常であれば無菌的な部位(血液, 髄液など)から肺炎球菌が検出される病態(菌血症, 髄膜炎など)を特に侵襲性肺炎球菌感染症(IPD)と呼びます。IPDは, 一般的に5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多く発症することが知られています。

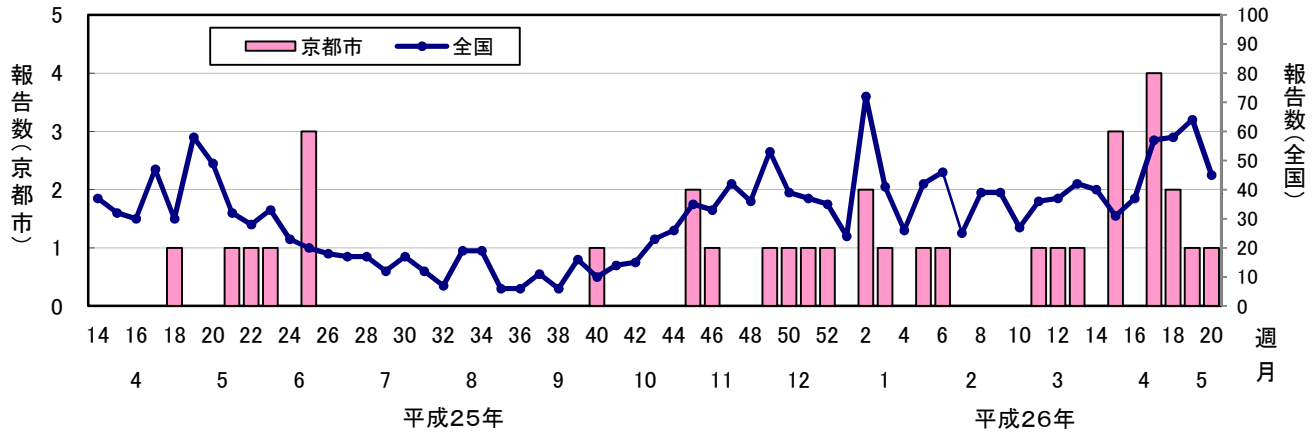
平成25年第14週～平成26年第20週までに京都市に届出のあったIPD 34例の年齢分布をみると, 5歳未満の小児と60歳以上の高齢者に多くの報告があり, 二峰性の分布を示しています。報告のあった小児 11例中, 8例が1歳以下で発症しています。一方, 成人の発症例は20歳代から報告がありますが, 23例中, 20例が60歳代以上となっています。小児のIPDでは, 菌血症(5例)が最も多く, 成人のIPDでは, 肺炎(9例)と菌血症(8例)がほぼ同数となっており, 小児にはなかった重症肺炎が多くみられています。

また, 34例のワクチン接種歴は, ワクチン未接種あるいは接種歴不明が全体の79.4%(27例)を占めています。平成25年4月の予防接種法改正により, 小児用肺炎球菌ワクチンが定期接種化され, 同年11月1日から, 13種類の肺炎球菌の成分を含むワクチンに一斉に切り替わりました。従来の7種類の肺炎球菌成分を含むワクチンと比べ, より高い予防効果が期待できると考えられており, ワクチンによる予防が最も重要となります。詳細は, 下記ホームページをご参照ください。

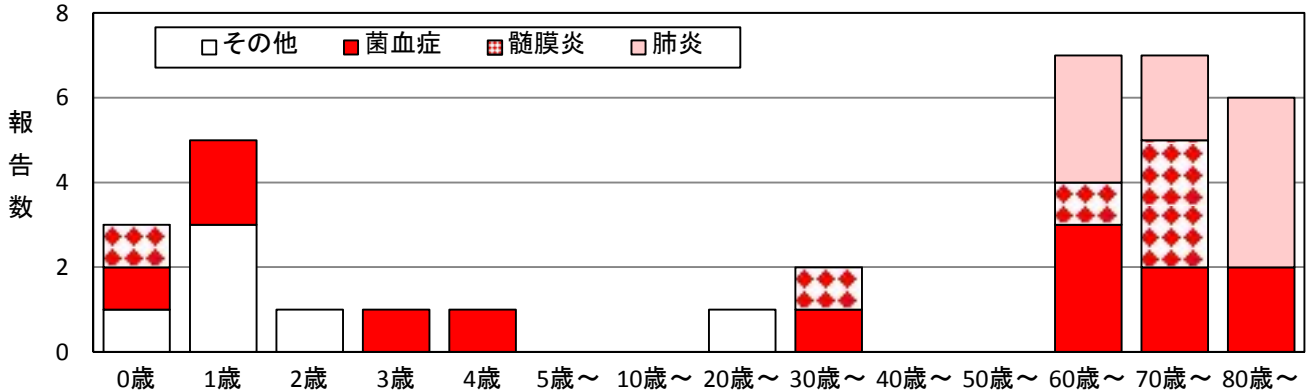
○厚生労働省ホームページ「感染症・予防接種情報」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/index.html

京都市及び全国の報告数の推移(平成25年第14週～平成26年第20週)



京都市に報告のあった34例の年齢別・疾患の内訳



IPD患者のワクチン接種状況の割合(京都市)

